

レグラスブラックバック水槽のベタ飼育での有効性

レグラス ブラックバックの特徴

背面にブラックガラス(スマート)を採用した事で、水景や魚の体色を引き立てるだけでなく、ベタの多頭飼育において喧嘩行動を抑制する効果もあります。実際にベタを用いて観察を行いました。

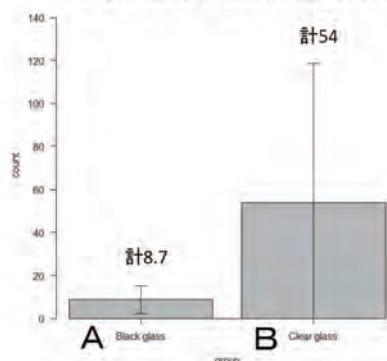
設置環境

- ・水槽：15×15×20cm、LED 設置。
- ・ベタ(オス)7匹を用いて、組み合わせを変更し、計6パターンで実験。
- ・30分間に相手に注目していた時間(秒)とフレアリングを行っていた時間(秒)を測定。
- ・測定結果について統計を分析。

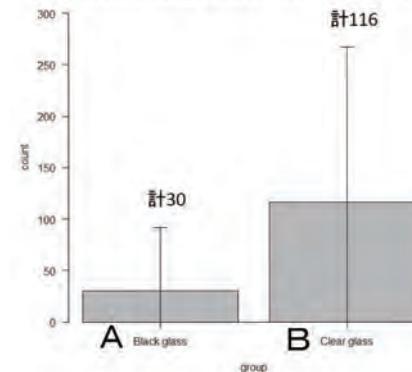
結果

- ・B透明ガラスではベタはお互い相手を良く認識し、長時間注目したのに対して、Aブラックガラス水槽では相手の存在を感じているものの注目時間が短くなりました。ブラックガラス水槽はベタ同士の視線を遮る効果をもつと考えられます。
- ・B透明ガラスではベタは互いに長時間のフレアリングを繰り返し行う様子が観察されました。一方でAブラックガラスはベタは相手に注目する時間が減り、フレアリング自体を行わない個体も多くみられました。

ベタの相手に対する注目時間(秒)
(1ペアあたり30分の観察時間で6組み合わせの平均値)



ベタの相手に対するフレアリング時間(秒)
(1ペアあたり30分の観察時間で6組み合わせの平均値)



A: 水槽の間にブラックガラスを向けた場合



B: 水槽の間に透明ガラスを向けた場合



まとめ

実際にブラックガラスを用いた観察では、ベタ同士の視線が合いにくくなることで、互いへの興味が薄れる様子が観察されました。一時的なフレアリングは見られるものの、数秒程度で落ち着きを取り戻す傾向にあり、始めは意識し合っていた個体も、次第に隣の存在に慣れ、リラックスして泳ぐ姿が見られました。ブラックガラスは半透明である為、完全にフレアリングを防止することはできませんが、抑制効果は見られます。